

用語解説

オンライン会議

インターネット回線を利用して、複数の参加者がリアルタイムに会議を行う仕組みです。パソコンやスマートフォン、タブレットなどの端末から、音声やビデオ、ファイル、画面を共有しながらコミュニケーションをとることができます。Zoom(ズーム)やGoogleMeet(グーグルミート)などがあります。

SNS

(ソーシャル・ネット
ワーキング・サービス)

インターネット上で交流や情報共有ができるサービスです。文章や写真、動画などを投稿して知人とコミュニケーションがとれます。また、他の人が発信した投稿を閲覧・共有することもできます。LINE(ライン)、Facebook(フェイスブック)、Instagram(インスタグラム)などの種類があります。

電子メール

パソコンやスマートフォンなどで文章や資料をやりとりする機能です。電子メールを送信するには、宛先のメールアドレスを指定します。一般的に「xxx@city.kumamoto.lg.jp」のように表記されます。

LINE(ライン)

友だちや家族と、1対1や複数人で、文字での会話・音声通話・ビデオ通話ができるSNSです。個人間やグループ内の会話は他の人に公開されません。

Facebook (フェイスブック)

世界最大規模のSNSです。基本的に実名で利用するというのが最大の特徴です。実生活に根付きやすく、友人とのコミュニケーションも取りやすいです。

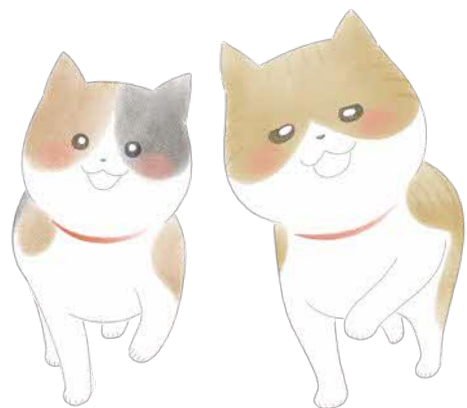
Instagram (インスタグラム)

写真や動画の投稿に特化したSNSです。スマートフォンでの利用を想定しており、他の人の投稿を閲覧したり、気軽に投稿・共有ができます。

ID

パソコン用語の「ID」は、一般的にサービスやシステムの登録者や利用者を識別するためのユーザー名を指します。サービスに登録して利用する際、アカウントが家、IDが住所、パスワードが鍵、をイメージすると分かりやすいです。

ご相談は、
東区総務企画課もしくは、
各まちづくりセンターの地域担当職員が
いつでもお受け付けて
おります！



熊本市LINE



東区Instagram

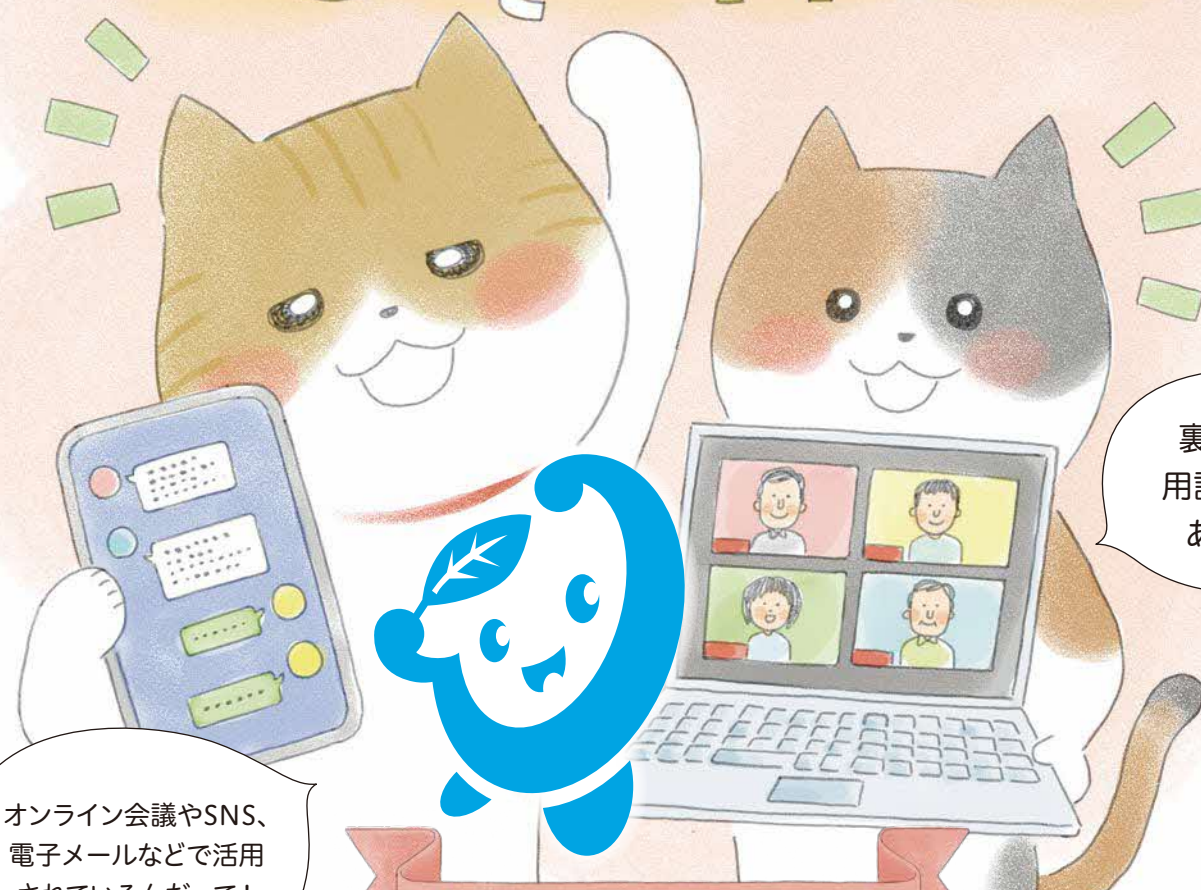
熊本市 東区役所 総務企画課

TEL 096-367-9121

Mail higashisoumukikaku@city.kumamoto.lg.jp

〒862-8555 熊本県熊本市東区東本町16-30

町内自治会活動の 負担が減る!! ICTを活用しよう!



オンライン会議やSNS、
電子メールなどで活用
されているんだって！

裏表紙に
用語解説が
あるよ！

「ICT」とは？

情報通信技術という意味で、スマートフォンやパソコンを活用した、
人と人をつなぐコミュニケーションを重視した技術です。
電子化した情報をやり取りするもので、あらゆる分野で活用されています。

熊本市東区役所

こんな時、ICT(情報通信技術)を活用してみませんか？

裏表紙の用語解説をご参照ください。

役員が

集まらない

- 暑くて外に出るのが不安
- 感染症が心配で集まらない
- ちょうど用事があって家にいないといけない



オンライン会議

一堂に会したように、相手の顔を見ながら会議や打ち合わせができる

やり方

- スマートフォンやパソコンでZOOM(ズーム)などのオンライン会議用のソフトを使用する

良くなる点

- 自宅でもどこでもできるため集合場所に行かなくていい
- スマートフォンやパソコンがあれば誰でも簡単にできる
- 感染症流行時や災害時でもできる

担い手と

つながれない

- 仕事が忙しくて活動に参加する時間がない
- 休日は家庭の用事で忙しい
- 自分の余暇を優先したい



SNSでの 情報共有、発信

LINE、
Instagram、
Facebookなど

役員や会員同士で気軽に情報共有ができる
イベントのお知らせや活動等の情報発信が不特定多数へ向けてできる

やり方

- 情報共有にはLINE(ライン)等のメッセージ用ソフトを使用する
- 情報発信には、FacebookやInstagramのソフトが活用できる

良くなる点

- 複数人でメッセージのやり取りができるため、集まらなくても情報共有ができる
- SNSに慣れている若い世代に情報が届き、自治会活動が見え、参加者が増える
- ホームページに比べて費用が抑えられる
- 配信した内容や返信のあった内容・日時が記録として残る

事務・手続きに

時間がかかる

- 自治会の事務に時間がかかる
- 役所に提出しに行くのが大変
- 役員同士の打ち合わせの日程調整がつかない



電子メールや 電子申請の活用

各種申請手続きを自宅や事務所のパソコン上で完結できる

やり方

- 電子申請が可能かどうかは申請先のホームページを確認する
- スマートフォンやパソコンに入っている電子メールによって連絡や書類のやり取りをする

良くなる点

- 区役所等に行かなくていい
- 手書きに比べて事務負担が軽減できる
- ペーパーレスで経費削減できる
- 書類の保管や管理がしやすい

オンライン会議の活用事例

事例 1

- 定例的に開催していた「班長会議」をZoomを活用して実施しました。40分間だけ使用できる無料のIDを活用したため、事前に資料を配布し、説明を簡潔にするなど、会議時間の短縮に努めながら実施しました。
- Zoomの設定方法を案内するチラシを作成したり、接続テストを事前に実施したりすることでICTが苦手な方にも配慮しながら進めました。
- 普段、仕事などで集会所に集まることができない方が参加しやすくなり、比較的若い方に参加してもらい、新たな意見がもたらえたなどの効果がありました。



事例 2

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、三役(会長、副会長、会計)の打ち合わせをLINEのビデオ通話を活用して実施しました。
- LINEで実施する日時のみ調整し、それぞれ好きな場所から参加しました。手間がかからず、新型コロナウイルスの影響で集まれない中でも意見交換することができました。

事例1の町内で導入するまでの流れ

- 4月** 班長会議に参加するメンバーへアンケートを実施
新型コロナウイルス感染防止対策として、班長会議のオンライン実施を提案
ICTの活用に抵抗がある方に配慮して、事前にアンケートを実施

- 5月** Zoomの設定方法についてのお知らせ
設定方法を記載したチラシを作成
ICTが苦手な方は、会長が家に出向いて一緒に設定を行った

オンライン会議のテストを実施

実際の会議前に全員が接続できるか確認するため、事前に接続テストを行い、不安な部分を解消することができた

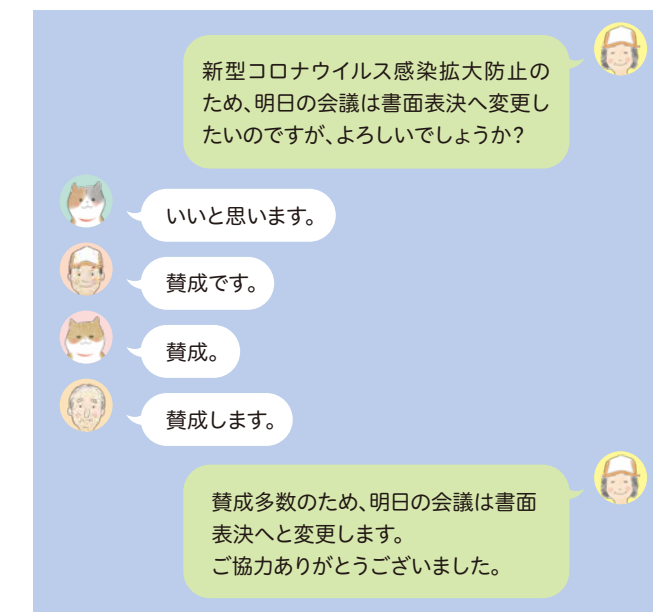
- 6月** オンライン会議の開催
事前に送付した手元の資料を見ながら会議を実施
制限時間が40分のため、説明を簡潔にするなど会議時間の短縮を意識した
自宅から家族と一緒に会議に参加した方もおり、新たな視点からの意見が出て、有意義な会議となった



電子メールやLINE(ライン)の活用事例

事例 1

- 役員間の連絡・情報共有について、LINEや電子メールを活用して実施しています。
- 各班の会員の増減の連絡や町内会に関する情報の共有などのほか、軽微な事項についてはLINE上で協議するなどの活用を行っています。
- 町内で発見した道路や防犯灯の異常などについて、LINEを使って情報共有し、市への相談状況などについても情報共有を図っています。



LINEを活用した協議の様子(イメージ)

町内会活動にLINEを活用するようになって、情報共有が早く、濃くなったように感じます。



事例 2

- 全ての役員とグループラインでつながっており、役員間の連絡・情報共有をLINE上で実施しています。
- 町内会や地域に関するあらゆる情報をタイムリーに役員全員と共有することができ、対応が速やかに行えるようになりました。
- 会議資料等を送付できるので、印刷や配布時間の節約ができ、会長や役員の負担軽減につながっています。

LINEなどを使用することで、非常時の安否確認等を効率的に行い、支援が必要な方へ迅速に対応できます。町内会の「共助」の機能を強化することにつながります。



事例 3

- 役員間の連絡・情報共有について、LINEを活用して実施しています。市からの連絡事項の情報共有を行っているほか、町内の危険箇所について写真を投稿してもらい、情報共有を図っています。
- 役員のグループラインで話題になったことをピックアップし、月に1回程度町内会で回覧することで、会員の皆様にも情報共有を図っています。
- 今後LINEで写真の投稿を役員全員ができるよう、研修会を開催することを検討しています。

役員の中にはLINEを活用できない方もいるため、その方には情報が入り次第、別途電話連絡するなど、役員間で情報に差が生じないように配慮しています。



ホームページの活用事例



事例 1

- 町内会連合会の活動内容や事業計画、校区で活動する各種団体の情報発信の場として活用しています。
- 連合会に加入する町内会の専用ページも用意しており、このページに回覧文書や町内会広報を掲載し、回覧板を電子化している町内会もあります。

事例 2

- 2019年にホームページを開設し、町内会の活動内容や回覧文書などの情報発信、各班長への連絡事項も発信しています。
- 町内会のほか、こども会や公民館からのお知らせなども配信しています。

ワンポイント

LINEのオープンチャットについて

LINEを活用した複数人での連絡手段として一般的なのは「グループライン」ではないでしょうか。グループラインは、まずは「友だち」にならないといけません。ただ、LINEで本名（フルネーム）を使用している人は少なく、「グループライン」でコミュニケーションを始めても、最初は話している人が誰が誰だかさっぱりわかりません。そこで活用したいのがLINE機能の「オープンチャット」です。オープンチャットには右のような特徴があります。

名前やプロフィールを別に設定できる

オープンチャットでは普段使っているLINEに登録している名前やプロフィールとは別に名前を設定できる

オープンチャットのトークルームへの参加はURLやQRコードで簡単に可能

オープンチャットはグループラインのように友だちになっていなくても参加が可能

トークルームへ参加できる人数が多い

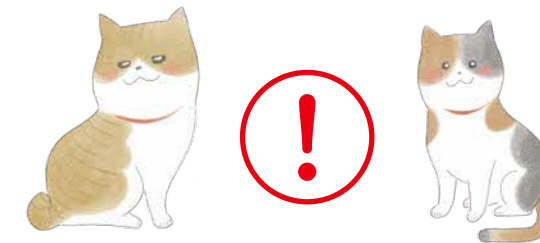
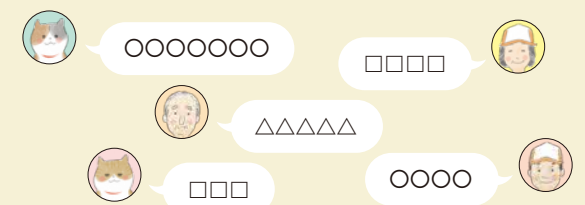
オープンチャットのトークルームへの参加は上限が5,000名
かなり大きな自治会や町内会でも導入が期待できる

トークルームの公開設定が出来る

あらかじめ設定した質問や参加コードを入力しないと参加できない機能もあるので安心

電子回覧板としての活用

オープンチャットを活用して電子回覧板として利用している自治会や町内会もある
「回覧板のオープンチャットには返信しない」というようなルールを作っておくと◎



インターネットやSNS利用時の注意

インターネットやSNSは簡単に連絡することができたり、必要な情報をすぐに検索できたりと便利な面がある一方で、安易な投稿によるトラブルやインターネットを介した詐欺・ウイルス感染などの被害に巻き込まれる危険性があります。

- 実在する組織をかたるSMSやメールを送信し、IDやパスワード、暗証番号、クレジットカード番号等、**個人情報を詐取したうえ、クレジットカード等を不正利用するフィッシングに関する相談**が多く寄せられています。
- 送られてきたURLにはアクセスせず、事前にブックマークした**正規のサイトや正規のアプリからアクセス**するようにしましょう。
- フィッシングサイトに個人の情報を入力してしまうと、**クレジットカードや個人情報を不正利用されるおそれがあります。絶対に入力してはいけません。**情報を入力してしまったら、同じIDやパスワード等を使っているサービスを含め、すぐに変更し、クレジットカード会社や金融機関等に連絡しましょう。
- **IDやパスワード等の使い回しを避ける**ことで被害の拡大を防ぐことができます。
- 消費者トラブルがあったときは、すぐに**消費者ホットライン(局番なし188)**または**熊本市消費者センター(096-353-2500)**にご相談ください。